

特 255

82

圖書參考資料

蘭草栽培の葉

其二

始



特255
82

はしがき

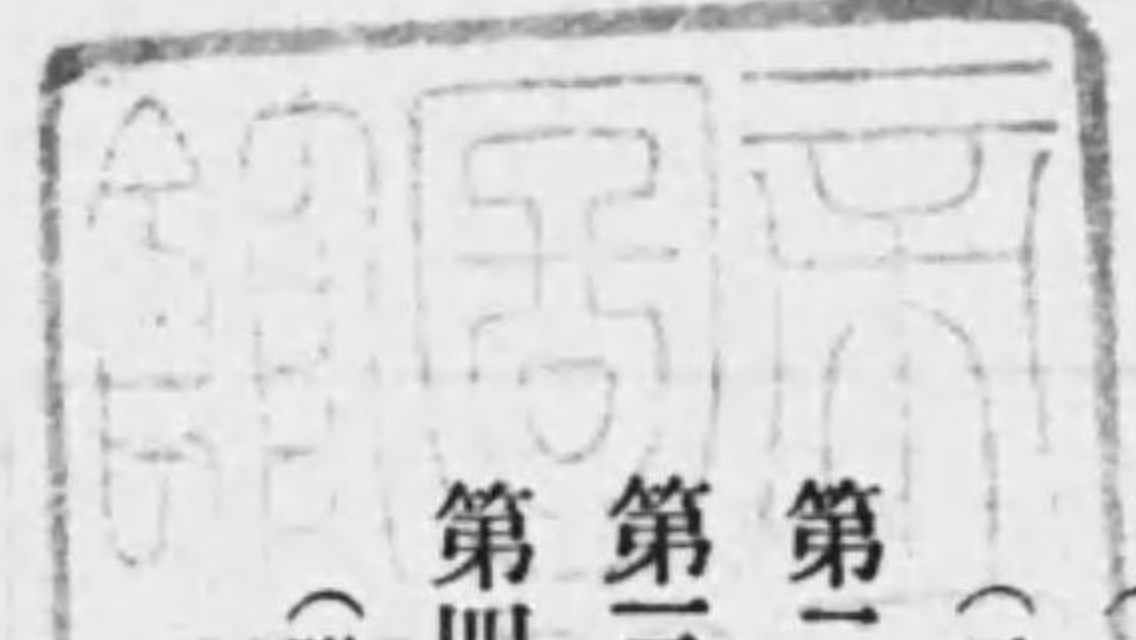
本縣主要副業たる蘭草栽培に付ては從來改良の施設なく舊慣の状態に放置され將來有望なる斯業も漸次衰退の恐あるに鑑み昭和四年度より本縣蘭質の向上を圖る計畫のもとに最も急を要する肥料三要素適量、肥料配合、蘭品種比較、苗仕立法各試験を施行し三瀕郡木佐木村北島茂八氏、三瀕郡木室村柿添千代吉氏、八女郡水田村塚本彦士氏に委託せり未だ一ヶ年の成績に過ぎずと雖も茲に其の概要を印刷し當業者の参考に資せんとす。

昭和五年一月

福岡縣内務部

目次

第一 肥料試験	〔二〕
(一) 肥料三要素適量試験	〔三〕
(二) 肥料配合試験	〔四〕
第二 品種試験	〔五〕
第三 苗仕立法試験	〔六〕
第四 蝗驅除試験	〔七〕
(附 録)		
(一) 蘭草一株の分蘖状況	〔一〕
(二) 蘭草一本の伸長状況	〔二〕
(三) 昭和四年度蘭庭製織競技會成績	〔三〕
(四) 福岡縣蘭草改良獎勵方針	〔六〕



第一肥料試験

一、三要素適量試験

(昭和三年十二月植付)

試験區別	木佐木村		木室村		水田村	
	反當收量	一等蘭以上	反當收量	一等蘭以上	反當收量	一等蘭以上
一、窒素八貫 燐酸三貫 加里三貫	三六九、〇〇〇	一三五、七五〇	三七八、〇〇〇	一七二、五〇〇	三四四、四〇〇	一〇一、一〇〇
二、〃一〇貫 〃三貫 〃三貫	三九七、三五〇	一六八、六〇〇	三九五、二五〇	一九七、二五〇	三五五、五〇〇	一一五、八〇〇
三、〃一二貫 〃三貫 〃三貫	四〇〇、五〇〇	一六四、二五〇	四一一、〇〇〇	二〇五、五〇〇	三六五、一〇〇	一二四、二〇〇
四、〃一〇貫 〃三貫 〃四貫	三八、九五〇	一六〇、三五〇	四〇三、五〇〇	二〇四、七五〇	三五一、三〇〇	一一〇、七〇〇
五、〃一〇貫 〃四貫 〃五貫	三八〇、五五〇	一六〇、〇五〇	四〇五、七五〇	二〇九、二五〇	三六〇、三〇〇	一一八、〇五〇
六、〃一〇貫 〃五貫 〃六貫	三八三、四五〇	一六六、五五〇	四一六、二五〇	二二三、五〇〇	三四九、五〇〇	一二三、五〇〇
七、〃一二貫 〃五貫 〃六貫	三六一、五〇〇	一六九、三〇〇	四一六、三五〇	二二六、五〇〇	四〇三、八〇〇	一五三、七五〇
八、〃一二貫 〃六貫 〃七貫	三六九、四五〇	一五〇、〇〇〇	四二七、五〇〇	二三〇、二五〇	三九六、七五〇	一六二、七五〇
九、〃一二貫 〃七貫 〃八貫	三六八、六〇〇	一五〇、八〇〇	四二八、五〇〇	二三四、二五〇	三八〇、一〇〇	一五四、六五〇

摘要

イ、三潞郡木佐木村

- 1 全收量の最も多きは窒素十二貫燐酸三貫加里三貫區で窒素十貫燐酸三貫加里三貫區之に次ぐ
- 2 特等蘭一等蘭量の最も多きは窒素十貫燐酸三貫加里三貫區で窒素十貫燐酸五貫加里六貫區之に次ぐ
- 3 品質良きは窒素十貫燐酸四貫加里五貫區である

ロ、三潞郡木室村

- 1 全收量の最も多きは窒素十二貫燐酸六貫加里七貫區で窒素十二貫燐酸七貫加里八貫區之に次ぐ
- 2 特等蘭一等蘭量の最も多きは窒素十二貫燐酸六貫加里七貫區で窒素十二貫燐酸五貫加里六貫區之に次ぐ
- 3 品質良きは窒素十貫燐酸四貫加里五貫區である

ハ、八女郡水田村

- 1 全收量の最も多きは窒素十二貫燐酸五貫加里六貫區で窒素十二貫燐酸六貫加里七貫區之に次ぐ
- 2 特等蘭一等蘭量の最も多きは窒素十二貫燐酸六貫加里七貫區で窒素十二貫燐酸七貫加里八貫

區之に次ぐ

3 品質良きは空素十貫磷酸三貫加里四貫區である

◎安全多收、品質、收入の點より見るときは空素十貫磷酸三貫乃至四貫加里五貫乃至六貫を施用するを可とするものゝ如し

二、肥料配合試験

(昭和三年十二月植付)

試験區別	木佐木村			木室村			水田村		
	反當收量	反當收益	反當純益	反當收量	反當收益	反當純益	反當收量	反當收益	反當純益
一、大豆粕四貫 硫酸安三貫 過磷酸三貫 硫酸加里二貫	三四二、六〇〇	一八〇、二二六	一二五、四三三	三七二、〇〇〇	二二二、七七三	一五七、九八九	三四九、五六〇	一八五、九八〇	一三一、一九七
二、大豆粕七貫 硫酸安三貫 過磷酸三貫 硫酸加里二貫	三五六、七〇〇	一八七、三四〇	一三五、八八〇	三七六、八〇〇	二二七、三九二	一六五、九三三	二九一、三〇〇	一九九、五六七	一〇八、一〇九
三、大豆粕二貫 硫酸安三貫 棉實粕三貫 過磷酸三貫 硫酸加里二貫	三四〇、〇〇〇	一七六、九八二	一二三、八八四	三八〇、四〇〇	二二六、五五二	一六一、八八八	二七七、九四〇	一三五、一七六	八〇、四三三
四、大豆粕四貫 硫酸安二貫 魚粉末三貫 硫酸加里二貫	三四六、二〇〇	一七九、八七三	一二六、五三三	三五四、六〇〇	一九八、六〇〇	一四五、二六〇	三六七、九八〇	一九九、四三〇	一三六、〇八〇

大豆粕四貫 硫酸安二貫 魚粉末三貫 硫酸加里二貫	三四一、四〇〇	一七六、六九二	一二〇、八二四	三四、四〇〇	二〇三、六七六	一四七、八七一	二六七、九六〇	一四〇、六〇一	八四、七九六
大豆粕四貫 硫酸安二貫 魚粉末三貫 硫酸加里二貫 肥料	三四六、二〇〇	一七九、八七三	一二六、五三三	三五四、六〇〇	一九八、六〇〇	一四五、二六〇	三六七、九八〇	一九九、四三〇	一三六、〇八〇

摘要

イ、三瀨郡木佐木村

- 1 反當收量の最も多きは大豆粕七一貫硫酸アンモニア三二貫過磷酸石灰二八貫硫酸加里二三貫を施用したるもので純收益の最も多きも同様である。
- 2 品質良きは大豆粕四一貫硫酸アンモニア二五貫乾血一六貫魚粉末二二貫過磷酸石灰二〇貫硫酸加里一三貫五〇〇匁を施用したるものである

ロ、三瀨郡木室村

- 1 反當收量の最も多きは大豆粕四一貫硫酸アンモニア三二貫棉實粕三八貫過磷酸石灰二六貫硫酸加里一三貫を施用したるもので純收益の最も多きは大豆粕七一貫硫酸アンモニア三二貫過磷酸石灰二八貫硫酸加里一三貫を施用したるものである。
- 2 品質良きは大豆粕四一貫硫酸アンモニア二五貫乾血一六貫魚粉末二二貫磷酸アルミナ一二貫

八、八女郡水田村
 鹽化加里一二貫五〇〇匁を施用したるものである。

1 反當收量の最も多きは大豆粕二一貫三要素完備ミカサ肥料一二〇貫を施用せるもので純収益の最も多きは大豆粕四一貫硫酸アンモニア二五貫乾血一六貫魚粉末二二磷酸アルミナ一二貫鹽化加里一二貫五〇〇匁である。

2 品質良きは大豆粕四一貫硫酸アンモニア三二貫棉實粕三八貫過磷酸石灰二六貫硫酸加里一二三貫を施用せるものである。

蘭草反當收穫量調

刈取量	一二五三、五〇〇	刈取量に對し	三三、八一歩止り
乾燥量	三九〇、〇三三	乾燥量に對し	二四、二一
特等蘭量(三尺六寸以上)	九四、四四三	同	同
一等蘭量(三尺三寸以上)	七三、八六〇	同	同
二等蘭量(三尺以上)	五九、〇〇七	同	同
三等蘭量(二寸五寸以上)	六六、三九三	同	同
トボ蘭量(三尺五寸以下三尺迄)	四六、二五〇	同	同

肩蘭量

五〇、〇八〇 同 一二、八四 同

備考 本調査は肥料配合試験三ヶ所の收穫量の平均を示す。

第二品種試験

イ、三潞郡木佐木村

(昭和三年十二月植付)

試驗區別	特等蘭	一等蘭	二等蘭	三等蘭	トボ蘭	合計
福岡	六一、八〇〇	七六、〇〇〇	六六、三〇〇	七六、八〇〇	四六、九〇〇	三二九、八〇〇
岡山	三〇七、六〇〇	八二、九五〇	五〇、八五〇	四七、一〇〇	三七、〇五〇	四二五、五五〇
廣島中太	一三六、六五〇	八九、七〇〇	七〇、一〇〇	六三、九〇〇	四六、三五〇	四〇六、八〇〇
廣島中細	一一一、三〇〇	七六、五〇〇	五七、〇〇〇	六二、七〇〇	四七、七〇〇	三五五、二〇〇
廣島細	一八一、八〇〇	八四、六〇〇	五二、八〇〇	四九、一五〇	三九、〇〇〇	四〇七、三五〇

ロ、三潞郡木室村

試驗區別	特等蘭	一等蘭	二等蘭	三等蘭	トボ蘭	合計
福岡	一五五、四〇〇	六三、六〇〇	四五、三〇〇	五九、〇〇〇	四〇、〇〇〇	三六三、三〇〇

試験區別	特等蘭	一等蘭	二等蘭	三等蘭	トボ蘭	合計
岡山	三九、八〇〇	五三、六五〇	三九、〇〇〇	三八、二五〇	一九、八〇〇	三七九、五〇〇
廣島中太	一九一、一〇〇	六一、二〇〇	四六、五〇〇	四五、六〇〇	三一、二〇〇	三七五、六〇〇
廣島中細	一七五、五〇〇	五一、四五〇	四〇、五〇〇	四八、四五〇	三六、六〇〇	三五二、五〇〇
廣島細	一七五、二〇〇	五七、一五〇	四四、一〇〇	四九、三五〇	三四、六五〇	三六〇、四五〇

ハ、八女郡水田村

試験區別	特等蘭	一等蘭	二等蘭	三等蘭	トボ蘭	合計
福岡	七三、八四〇	七七、八八〇	七三、〇五〇	九〇、一五〇	五一、四二〇	三六五、三四〇
岡山	一九三、五〇〇	六八、四六〇	四六、九五〇	四六、六八〇	三九、一五〇	三九四、七四〇
廣島中太	一一六、一九〇	八一、四五〇	五八、六五〇	六八、四〇〇	五八、二六〇	三二二、九五〇
廣島中細	一三三、〇〇〇	六四、六五〇	五〇、二五〇	五八、四一〇	五七、一五〇	三六三、五四〇
廣島細	一六五、〇〇〇	八一、四五〇	四七、七三〇	五七、四五〇	五八、六五〇	四一〇、二八〇

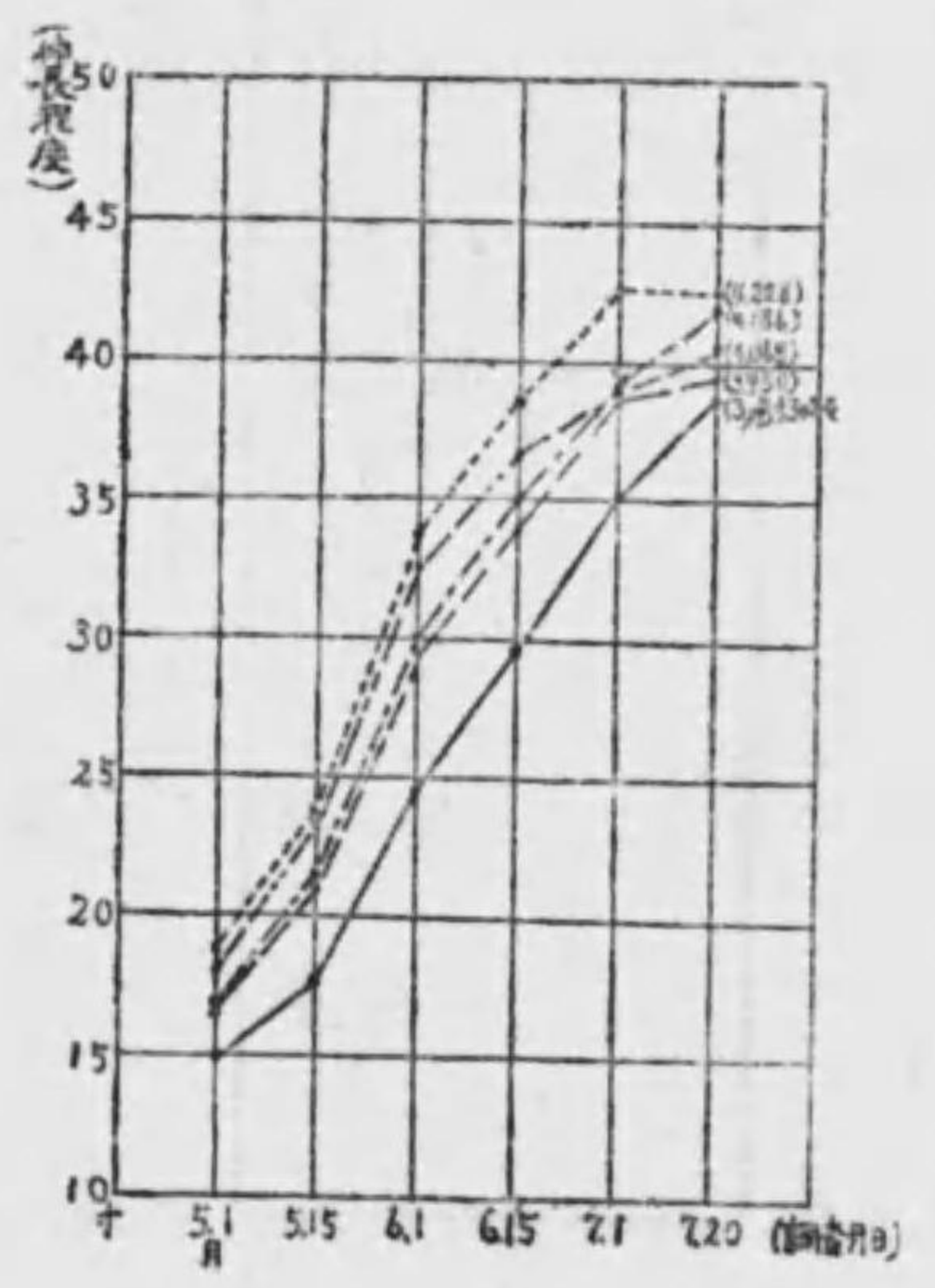
摘要
以上三ヶ所の試験の成績を見れば

- 1 收量最も多きは岡山産、廣島細、廣島中太にして廣島中細福岡産之れに次ぐ
- 2 特等蘭一等蘭の收量の最も多きは岡山産、廣島細、廣島中太にして廣島中細、福岡産之れに次ぐ
- 3 用途上より見るときは花莖としては福岡産、岡山産にして、疊表としては廣島産適當なるものゝ如し

各縣産草丈比較調 (三瀨郡木佐木村)

備考

本調査ハ五株最長草丈の平均	五月一日草丈基準	七月二十日草丈最長
福岡	(一、五〇〇)	三八、三三
廣島中細	(一、六七四)	三九、五〇
廣島中太	(一、六八〇)	四一、八六
廣島細	(一、八三八)	四〇、八八
岡山	(一、八九四)	四一、三三



第三 苗仕立法試験

八女郡水田村

(昭和三年十二月植付)

試験 區別	反當 收量	粒の硬軟	色	澤	順位
慣行 苗	三六五、八〇〇 ^貫	軟		中	2
田一年 苗	二五九、一〇〇	軟		中	3
畑一年 苗	三八〇、四〇〇	硬		上	1

摘要

- 1 收量最も多きは畑一年苗にして慣行苗田一年苗之れに次ぐ
- 2 品質は畑一年苗最も良好にして慣行苗田一年苗之れに次ぐ

第四 蝗驅除試験

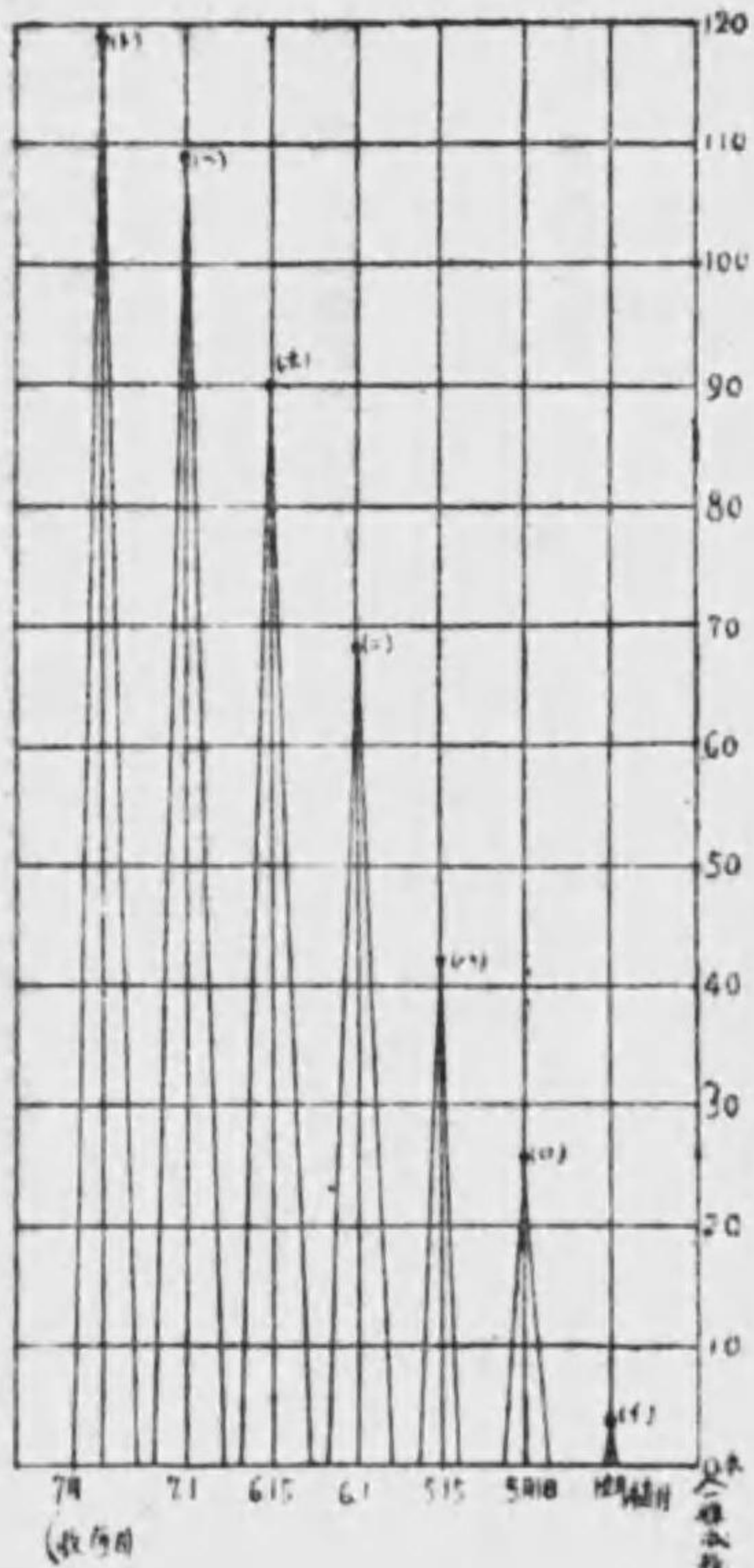
撒布 藥劑名	調 合 方 法	藥劑一升の價格	蝗百足の内死虫	有効順位	摘 要
ゲーラン石鹼液	水一斗ゲーラン十匁石鹼十五匁	二、二五	八五	四	蘭蝗驅除に對しては此の成績ではネ

標 準	水	○	○	○	○
デリス石鹼液	水一斗 デリス石鹼二十匁	二、五〇	九三	二	オトン石鹼液最有効と認められ、デリス、ゲーラン之に次ぐ
二合式デリス乳劑三十倍液	水一升 石油二合 デリス石鹼十六匁	〇、九五	九二	三	藥劑撒布は蝗の幼い時代に行ふ方が効力多し
ネオトン石鹼液	水一斗液体ネオトン二匁五石鹼十二匁	一、四五	九六	一	
砒酸鉛石灰液	水一斗砒酸鉛二十匁生石灰二十匁	一、三一	九	五	

右昭和四年六月四日試験、試験地は三潯郡木佐木村

(附 録)

(一) 蘭草一株の分藥狀況



(ト)(ハ)(ホ)(ニ)(ハ)(ロ)(イ)
 一 一 九 六 四 二 四
 一 〇 〇 八 二 六 六
 九 七 〇 八 本 本 本 本
 本 本 本 本 本 本 本

本調査は三ヶ所の肥料三要素、肥料配合各試験区の二百二十五株の平均分蘗を示す
 本調査は一莖五寸以上のものに付調査す
 分蘗總本数は百十九本より四本を引去りたる残り百十五本なり
 以上を綜合する時は分蘗の最盛期は五月中旬より六月初め迄なり

(一) 蘭草一本の伸張状況 (三浦郡木佐木村)

備考

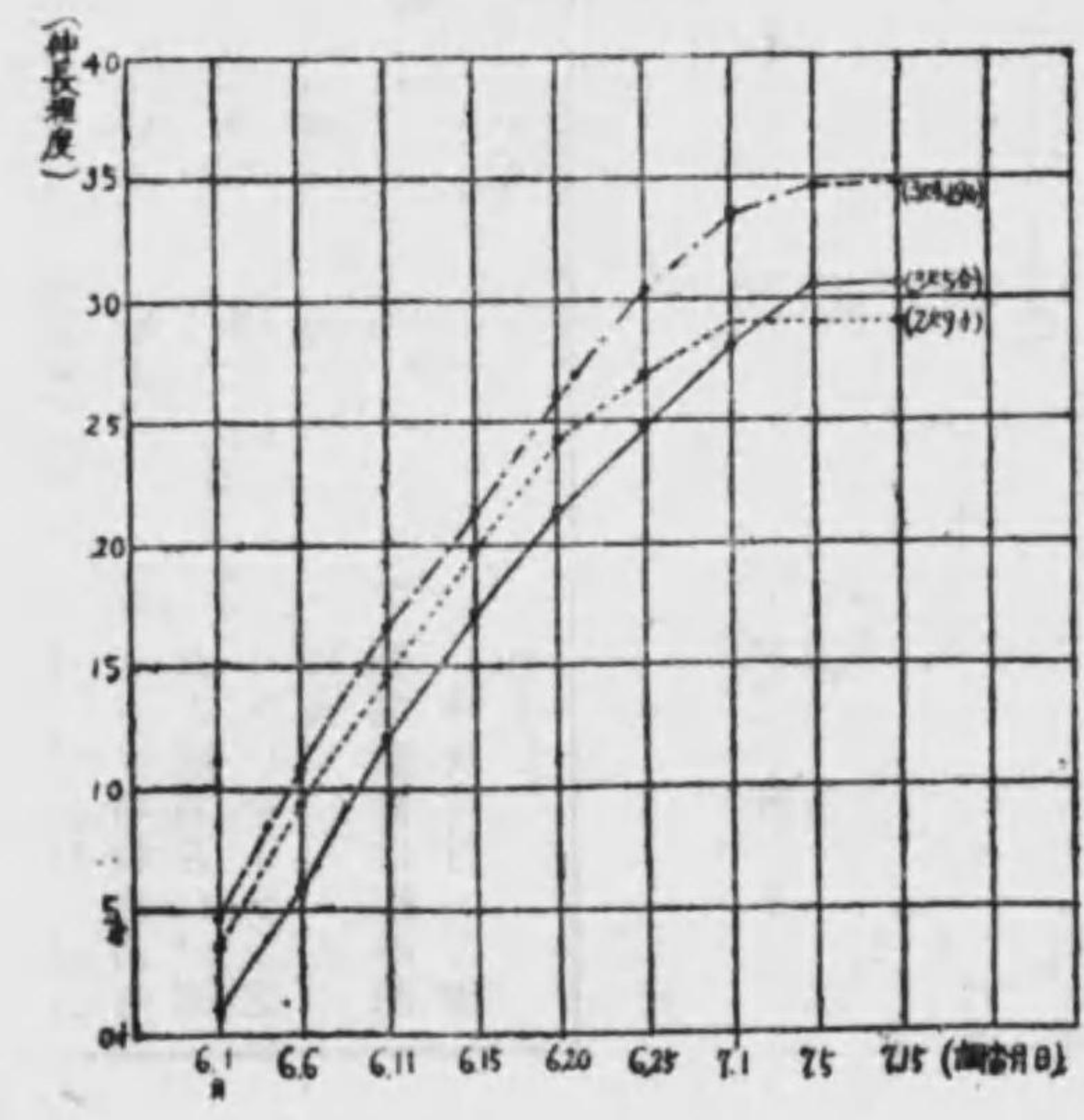
六月一日より七月十五日迄各一本の伸長測定

第一區 六月一日草丈基準

- 一號 (一寸)
- 二號 (三寸五分)
- 三號 (四寸八分)

七月十五日草丈最長

- 三、〇五〇
- 二、九〇〇
- 三、四九〇



備考

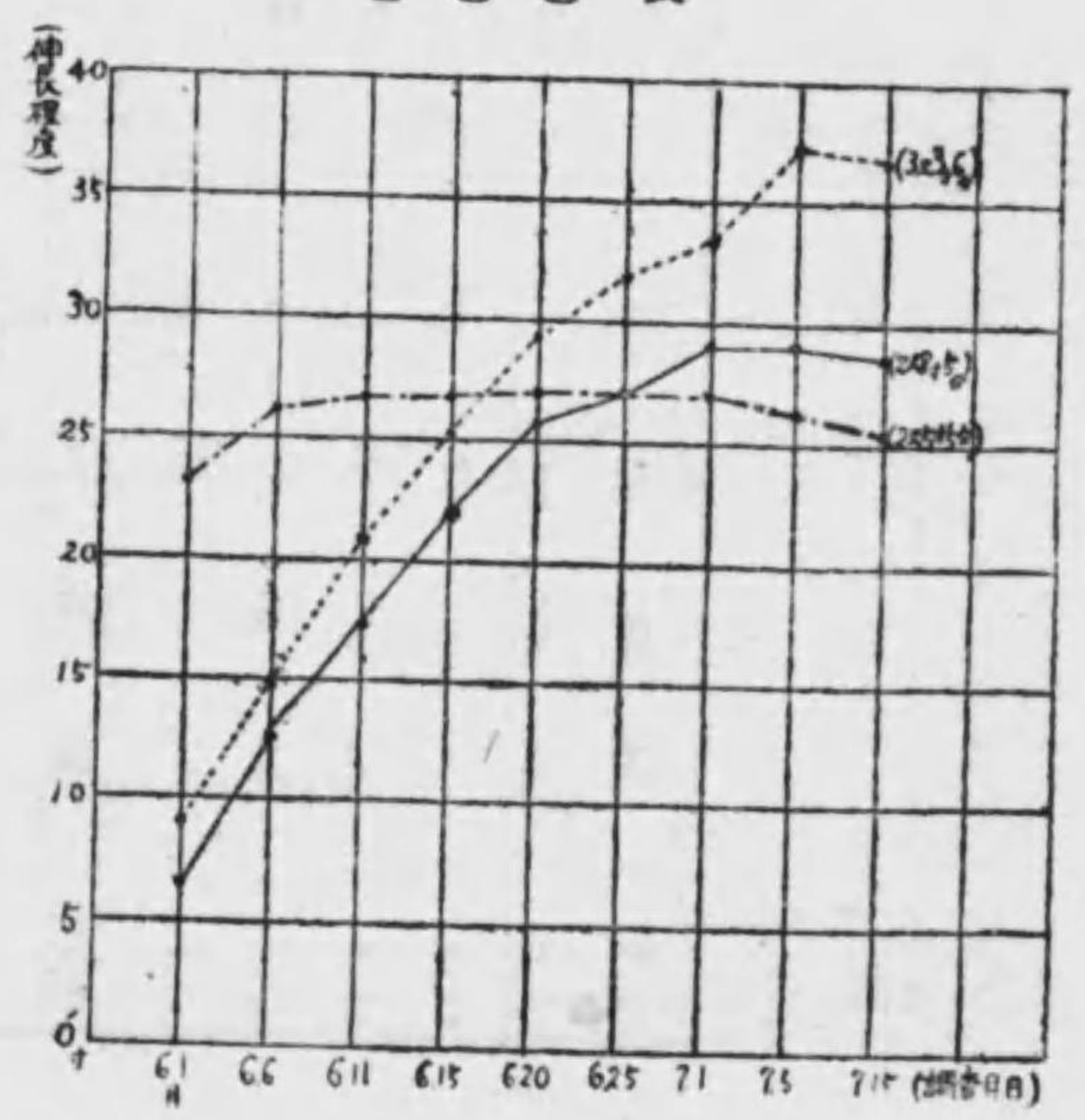
六月一日より七月十五日迄各一本の伸長測定

第二區 六月一日草丈基準

- 一號 (六寸七分)
- 二號 (九寸)
- 三號 (三尺三寸三分)

七月十五日草丈最長

- 二、八五〇
- 三、三六〇
- 三、五五〇



(三) 昭和四年度蘭蕙織競技會成績
 一、開催町村別出技臺數

開催町村名	改良機						七島機合計	開催月日
	大昭式花菱機	昭二式高井良式花菱機	片蘭差系立普通機	花菱機	莫産機	七島機		
三浦郡大莞村農會	九	六	二	三	六	四	四	10、10
同 木佐木村農會	二	一	三	六	八	四	四	10、11
同 城島町農會	二	一	三	六	八	四	四	10、11
同 三又村農會	二	一	三	六	八	四	四	10、11
同 江上村農會	二	一	三	六	八	四	四	10、11
八女郡水田村農會	六	一	三	六	八	四	四	10、11
三浦郡大溝村農會	六	一	三	六	八	四	四	10、11
同 蒲池村農會	五	一	三	六	八	四	四	10、11
同 山門郡三橋村農會	五	一	三	六	八	四	四	10、11
三浦郡木室村農會	七	二	三	六	八	四	四	10、11
同 田口村農會	七	二	三	六	八	四	四	10、11
合計	七	二	三	六	八	四	四	10、11

- 二、記 録
- 一、大昭式花菱機
- イ、製品名 碼幅花菱 (耳組)
- ロ、競技時間 一時間三十分

開催郡町村名	織立最長	織立最短	織立平均
三浦郡大莞村農會	一二、二〇	六、九五	九、二〇
同 木佐木村農會	一九、四五	一四、七五	一六、〇八
八女郡水田村農會	一六、五三	六、四三	一二、七二

- 二、舊式七島機並改良七島機
- イ、製品名 七島表 (耳不組五ヶ所尻結)
- ロ、競 技 一枚織上げ
- ハ、規 格 經糸イチビ八十八筋(取付) 原料一等草 長さ六尺六寸 幅三尺三寸三分 一枚量目五百匁

開催郡町村名	舊 式 七 島 機			改 良 七 島 機		
	所要最短時間	所要最長時間	所要平均時間	所要最短時間	所要最長時間	所要平均時間
城島町三浦郡三又村各農會聯合江上村	六、〇〇	九、三〇	七、六〇	三、七、五〇	四、七、四〇	四、三、〇〇
三浦郡大溝村農會	四、五、〇〇	五、三、〇〇	五、四、〇〇	四、八、〇〇	四、九、〇〇	四、八、三〇

329

47

(四) 福岡縣蘭草改良獎勵方針

◎蘭作

- 一、品種の改良—優良品種の選抜、原苗圃の設置、共同苗圃の設置
- 二、栽培法の改良—苗仕立法の改善、病蟲害の防除
- 三、肥料の改良—三要素の配合、有機質肥料の施用、肥料共同購入並共同配合、施肥期の適期
- 四、土染の改良—土染の普及、染土の研究
- 五、跡作の改良—蘭草跡作稻の研究

◎花苳疊表

- 一、原料供給の増加—蘭草生産増加、大麻イチビの研究
- 二、製織技術の向上—優良製織機の普及、製織競技會の開催
- 三、販賣の改善—副業實行組合設置の普及、副業實行組合聯合會の組織、共同作業場の設置
- 四、團體的活動—花苳組合並販賣組合の活動

終

